

JFMA情報

Japan Futon Manufacturers Association

日本ふとん製造協同組合
一般財団法人日本ふとん協会

JFMAアドレス <http://www.futon.or.jp/>

平成30年1月1日 No.134



「情報提供の強化」

日本ふとん製造協同組合 理事長 浅黄 敬之

新年明けましておめでとうございます。旧年中は組合活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も引き続き組合活動にお力添えいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年国内景況を顧みますと景気は緩やかに持ち直しているとの見方ができるようです。円安傾向が続く中、輸出産業が景気を牽引し株価も2万円代を回復しております。しかし一方で個人消費に関しては思ったほど伸びていない状況です。少子高齢化にともなう労働人口の高齢化や将来に対する不安から消費性向低下が見られ、節約志向が続いているようです。輸出産業や大企業の業績が好調な反面、内需に頼る我が寝具業界は厳しい状況が続いております。円安が原料高を招き利益を圧迫しておりますし、多くの組合企業では労働者の高齢化で生産性維持が難しくなっております。組合が実施しております外国人技能実習生受け入れ事業は、安定した人材の確保が困難になった組合企業に是非活用していただきたい事業です。現在中国だけでなくカンボジア王国やフィリピンからも実習生を受入れています。

また組合事業のもう一つの柱である「まるごと

ジャパン」ラベルの普及活動ですが、残念ながらラベルを活用している組合企業はまだまだ少数です。ラベルの更なる普及を目指し、昨年は使用基準を緩和したラベルを新たに発行しました。今年度は更に枕仕様の「まるごとジャパン」ラベルを発行する予定です。国内製造寝具の優位性を消費者に認知してもらう為に多くの組合企業にラベルを活用していただきますようお願い申し上げます。

昨年末に組合HP(ホームページ)が十数年ぶりにリニューアルしました。経営情報委員会が中心となって検討し、まくら様のご協力をいただきながらHPを作成致しました。現在もより正確な情報を提供するための検討を行っています。寝具について消費者目線で誰が見ても分かり易く、楽しい内容になっています。是非ご覧いただきたいと思

います。組合企業や組合事業の情報発信ツールとして、おおいに活用していただきたく思います。

紙面ガイド

年頭所感	1~2
浅黄理事長、米山部会長、石田委員長 「まるごとジャパン」ラベルについて...	3
2018年度「寝装原料相場動向」予測	4
平成29年度 技能実習生26名が入国...	5
統計資料(繊維)	6
統計資料(貿易)	7

「新たな技能実習制度への対応」

J FMA国際交流部会長 米山 元章



あけましておめでとうございます。

国際交流部会は今年で16年目を迎えます。この間、主に中国を中心に15年間で約606名の技能実習生を受入れてきました。現在フィリピン実習生は3期生、カンボジア王国の実習生は2期生の受入れを行いました。両国から受入れている組合員の評判も良く、引続き受入れを予定しています。

当組合では、16年前に外国人技能実習生受入れのため、技能検定「寝具製作」の枠に基礎級を新たに設け、実習生の職種を作りました。その後、中央能力開発協会（試験問題作成・実施機関）の指導に基づき試験問題の改訂等を行ってきました。

実習生受入れ事業は、組合活動の大きな柱となっています。一社でも多くの組合員各位が、実習生を受入れていただくことを切にお願いします。組合員以外の方でもふとん製造に関連していれば、実習生の受入れは可能ですので、お声掛けをお願い致します。

2017年11月1日に新たな技能実習制度が施行されました。法令を遵守し、監理団体・外国の送

出し機関・受入れ企業・外国人技能実習生が、ふとん製造の優れた技術を習得・習熟・熟達していただき、優良な受入れ企業及び監理団体を目指していければと考えております。当組合では、外国人技能実習機構に特定監理事業として申請し、今まさに機構からの許可を受ける寸前です。受入れ組合員は、監理団体の許可と並行して技能実習計画の認定申請や2018年技能実習生として受入れる書類を着々と作成中です。機構に対して監理団体・受入れ企業が、優良と認定されますと3年から5年の受入れが可能となるほか、実習生を最大で15名まで受入れができるようになります。技能検定試験も現在は、基礎級ですが、今後は随時3級の試験が必須となります。組合員の皆様にも製造部門内で技能検定試験に合格することを目指していただくと同時に、実習生に対して技能実習責任者として指導していただけると、機構からの加点が増加されます。これらを踏まえて、新たな寝具製作の技術を組合員皆様とともに更なる向上を目指して行ければと考えております。

「組合HPをリニューアル」

J FMA経営情報委員長 石田 裕紀子



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年末、当組合ホームページをリニューアルしました。J FMA研修会で4年連続講師をお願いしております、まくら(株)河元代表取締役社長の多大なる御厚意により実現いたしました。併せて、「一般財団法人 日本ふとん協会」と「日本ふとん製造協同組合(J FMA)」のロゴマークも一新して頂きました。深く御礼申し上げます。

主な新機能は、①組合専用ページ新設。②スマートフォンやタブレットなど様々な端末の表示を最適化。③SNSとの連動。④事務局や経営情報委員で更新出来るシステム構築。⑤情報の拡充。

(会員情報・歴史沿革・部会事業・各ラベル詳細、等々)。また、目には見えないSEO対策等も施し

てあります。

組合員の皆様には一早く旬な情報を共有して頂くことが出来ると共に、一般の消費者にもお役に立てるような情報満載の素晴らしいサイトの開設となりました。是非、より多くの皆様に積極的にご活用頂きたいと思っております。まずは「J FMA ふとん」で検索してみてください。より充実したサイト運営の為にも、皆様の率直なご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。

新委員に丸三綿業(株)横尾取締役も就任された新体制で、本年も引き続き、組合員の皆様に少しでも有益な情報を提供できるように活動してまいりたいと思います。ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

「まるごとジャパン」ラベルについて

JFMA共同ブランド「まるごとジャパン」ラベルは、海外製造ふとんととの差別化を目的としており、日本製ふとんの安心・安全といった優位性を消費者に分かりやすくアピールすることです。

「まるごとジャパン」ラベルは2種類があり、①製品に使用する羽毛や羊毛は国内洗浄工程を経た原料を使用することを条件にした「デラックス・バージョン」と、②海外での洗浄工程を経た原料を使用した製品でもラベルを添付することが出来る「スタンダード・バージョン」があります。ラベルの詳細についてのお問い合わせやお申込みは組合事務局までご連絡ください。



まるごとジャパンの5つのこだわり

1. このふとんは、日本ふとん製造協同組合が認定した国内工場で製造したものです。
2. 生地は、日本のきれいな水で染色加工し、縫製・検品も本です。
3. 詰め物は、国内製造の合成繊維と海外で生まれた羽毛や羊毛も日本の水と技術で洗浄・管理した厳選素材です。
4. このふとんの5年後の打ち直しや丸洗い、廃棄など何でもご相談いただけます。
5. 「まるごとジャパン」ラベルの運用費の一部は育英資金等に寄付します。

まるごとジャパン ラベルの種類

スタンダード



■スタンダードラベル

まるごとジャパンの価値を日本全体に普及させる為に生地の国内染色や原料の国内洗浄を取り除いた。

但し、品質基準はデラックス・バージョンと同等。組合員の皆様は、品質基準をクリアし、より良い日本製のふとんとして消費者の皆様は安全かつ安心を提供できる。ラベルは、下げラベルを付ける。

デラックス



■デラックスラベル

世界との差別化を図る目的で、生地は、日本の染色工場の生地を使用して、更に国内縫製した側地に限る。

原料は、全て国内洗浄の原料を使用すること。組合員のふとん製造会社が、自信を持った逸品を提供する。

織ネームと下げラベルを使用する。

2018年度「寝装原料相場動向」予測

メルクロス株式会社 取締役 リビングユニットマネージャー 川崎 修

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え今年の寝装原料相場動向について2017年を振り返り検討してみたいと思います。

寝装業界にとって切っても切れない関係にある中国の情勢ですが、中国政府の環境問題改善指導が各工場へ大きな影響を与えております。パリ協定における環境基準を履行すべく中国政府は厳しく指導しております。環境基準に満たない工場は操業停止、閉鎖に追い込まれているのが現況です。工場を環境を整えるには多額な設備投資が必要となります。近年の人件費アップも重なり更なるコストアップになり資金不足の工場は廃業となっているようです。

更に中国政府は数年で工場数を減少させる方針と聞いておりより一層厳しい基準を各工場に課しているようです。今後中国での生産は非常に厳しい状況になると考えております。そのような状況の中ポリエステル原料は高騰が続いております。

その原因としては再生ポリエステルの原料となるペットボトルが昨年5月以降中国政府の通達により輸入停止となっております。中国国内での手当てでは賄いきれず相場高騰となりました。一方東南アジア諸国の工場では中国の状況から便乗値上げとなっています。

日本への輸入関税は中国、台湾、韓国は6.6%課税されますが東南アジアからのインドネシア、マレーシア、タイ、ベトナムなどからの輸入に対してはFTA協定により無税であり中国の相場動向を見ながら仕入れ先を拡大して行くことで国内メーカー様へは安定供給が出来ると考えております。

このような厳しい状況が続いている寝装業界です

が、不織布業界では車両関連向けや衛生材料向けは海外への設備投資も増加しており順調に売上げを拡大しております。

今後当社においては海外メーカーからの仕入れ窓口を増やし安定した品質、価格にて提供できるかが売上げを大きく左右される要因になると考えております。

現在高騰している羽毛原料について検討してみました。近年は毎年のように猛威を振るっている、鳥インフルエンザの影響によるところが大きく、昨年のヨーロッパにおいては優良な羽毛原料産地のフランス、ハンガリーのダック原料が壊滅状態に陥り価格は暴騰いたしました。更に先で述べた中国のポリエステル工場同様中国羽毛洗浄メーカーも環境改善指導により設備改善を迫られ資金繰りに苦慮しているようです。このことも羽毛原料高騰の一因と言えるでしょう。

寝装業界における羽毛ふとんは主力商品であり今後の羽毛原料相場により販売量は大きく増減し、しいては売上高に影響を及ぼすことでしょう。

2018年もデフレ経済は続き事が予想され業界にとっては原料高、製品安の状況が続く厳しい環境にあると言えます。JFMA会員様が知恵を出しあい消費者に安心して安全な商品を提供され業界にとって素晴らしい年になることをお祈りいたします。

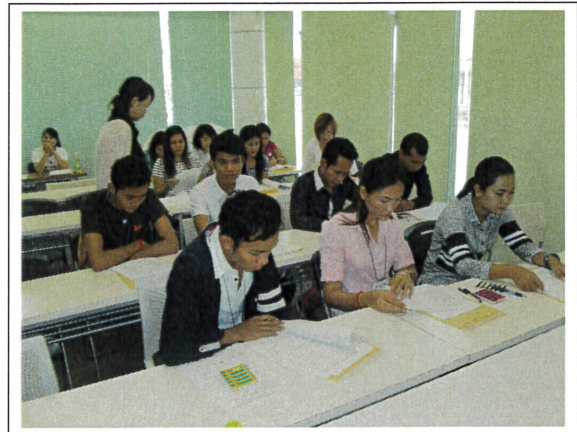


平成29年度 技能実習生 26名が入国

—カンボジア人技能実習生 2回生 7名が入国—

当組合の外国人技能実習生受入れ事業は、今年で16年目を迎えますが、昨年はカンボジアから2回目の実習生を受入れました。また、フィリピンからは2015年に受入れを開始し3回目となり、現在の受入れ国は中国・フィリピン・カンボジアと3ヶ国からの技能実習生を受入れています。

昨年は、中国から14名、フィリピンから5名、カンボジアから7名の合計で26名の実習生を受入れました。入国後1ヶ月間、日本語を中心に入管法や関係労働法に関する法的保護に関する講習会を栃木県小山市と奈良県高取町で実施し、受入れ組合員企業に配属しております。



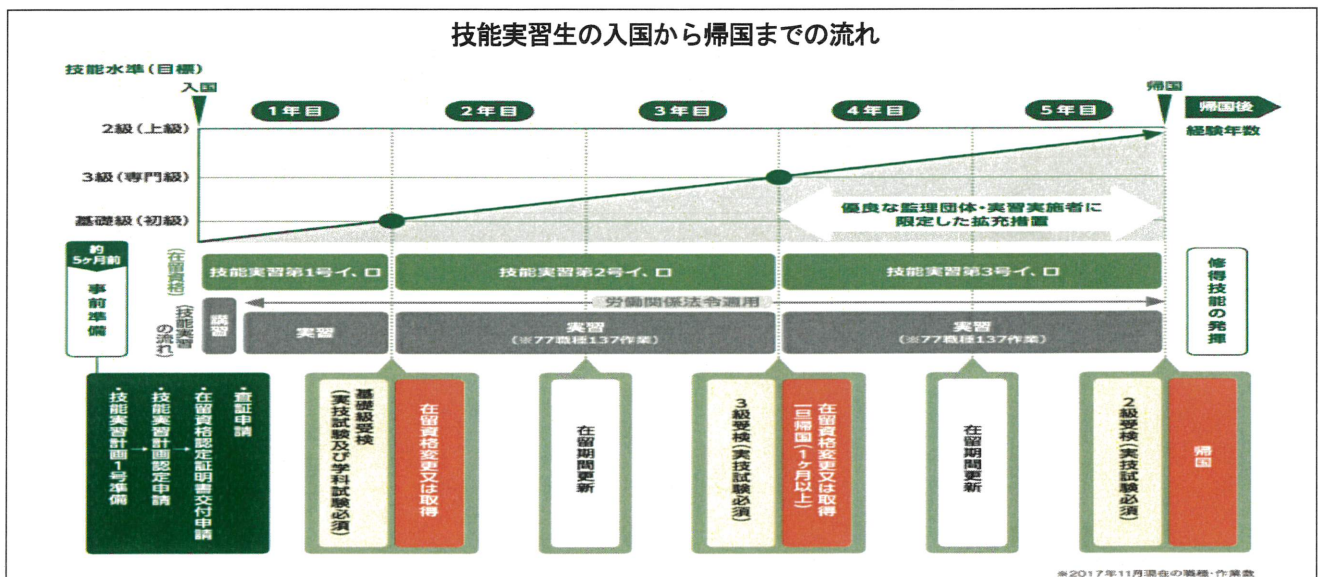
2017年7月20日フィリピン・カンボジア・中国人の講習会

本年（2018年）は、1月6日から中国での面接を皮切りに、フィリピン・カンボジアでの面接を予定しており、21名の技能実習生の受入れを予定しております。

技能実習生の受入れについては、「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」が、2017年11月1日に施行されました。この法律には、技能実習計画の認定制や実習生受入れ機関の届出制、監理団体（組合）の許可制と、外国人技能実習機構を認可法人としての新設、実習生の受入れ期間を3年から最長5年を可能とすることなどが盛り込まれています。



きぼう国際外語学院（小山市）



※2017年11月現在の職種・作業数

統 計 資 料

繊維統計

2017年1～9月のふとん生産量
239万枚、4.4%減少

ふとん生産量の推移 (単位：千枚、%)

年 別	掛 け	敷 き	こたつ	羽 毛	合 計
07年	1,529 79.0	2,341 82.3	279 54.5	1,735 88.4	5,884 81.1
08年	960 62.8	1,811 77.4	281 100.7	1,722 99.3	4,775 81.2
09年	973 101.4	1,762 97.3	259 92.2	1,758 102.1	4,753 99.5
10年	978 100.5	1,710 97.0	237 91.5	1,659 94.4	4,583 96.4
11年	893 91.6	1,744 102.3	201 79.4	1,561 93.9	4,399 96.1
12年	813 91.0	1,661 95.2	161 80.1	1,382 88.5	4,017 91.3
13年	759 93.4	1,482 89.2	138 85.7	1,328 96.1	3,706 92.3
14年	791 104.2	1,598 107.8	160 115.9	1,296 97.6	3,844 103.7
15年	754 95.3	1,551 97.1	112 60.0	1,214 93.7	3,631 94.5
16年	717 95.0	1,480 95.5	99 88.2	1,305 107.6	3,601 99.2
17年 1～9月	508 97.3	1,002 109.7	44 73.3	837 102.2	2,391 95.6
17年 1～3月	169 90.4	367 92.9	3 70.0	297 99.7	836 94.6
17年 4～6月	171 100.6	307 89.3	14 75.0	233 112.6	725 99.7
17年 7～9月	167 100.6	328 91.1	28 57.1	307 97.5	829 93.1

上段は数量、下段は前年比 (経済産業省・繊維統計)

2017年1～9月の製綿生産量
3,888トン、7.3%減少

製綿生産量の推移 (単位：トン、%)

年別	合成繊維	その他(羊毛含)	合 計
07年	9,224(99.2)	4,175(99.4)	12,781(94.7)
08年	9,830(106.6)	2,602(73.2)	12,432(97.3)
09年	8,568(87.2)	2,288(87.3)	10,856(87.3)
10年	9,092(106.1)	2,179(95.2)	11,271(103.8)
11年	9,050(99.7)	2,096(96.3)	11,145(99.1)
12年	7,998(88.4)	1,908(91.0)	9,906(88.9)
13年	5,036(63.0)	1,733(90.8)	6,769(68.3)
14年	4,414(87.6)	1,613(93.1)	6,027(89.0)
15年	4,312(97.7)	1,512(93.7)	5,823(96.6)
16年	4,352(100.9)	1,474(97.5)	5,826(100.1)
17年 1～9月	3,036(96.6)	852(81.3)	3,888(92.7)

(経済産業省・繊維統計)

2017年1～10月の支出金額14.6%増加
ふとんへの一世帯当たりの支出額

(単位：円、枚、%)

年別	支出金額	購入数量	平均単価
09年	2,807(76.2)	0.270(103.1)	10,397(73.9)
10年	2,913(103.8)	0.278(103.0)	10,484(100.8)
11年	2,912(100.0)	0.262(94.2)	10,851(105.9)
12年	3,383(116.2)	0.265(101.1)	12,762(117.6)
13年	2,747(81.2)	0.259(97.7)	10,606(83.1)
14年	3,369(122.6)	0.257(99.2)	13,105(123.4)
15年	3,020(89.6)	0.263(102.3)	11,480(87.6)
16年	2,874(94.3)	0.240(91.3)	11,975(104.3)
17年 1～10	2,406(114.6)	0.126(106.8)	11,403(106.8)

(総務省、家計調査)

貿易統計

2017年1～10月「合繊ふとん」輸入枚数 1,378万枚、17.8%増加

合繊ふとんの輸入実績

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ベトナム	タイ	その他	合計
2011年	数量	12,500(119.4)	426(283.8)	4(553.6)	23(88.5)	12,953(121.7)
	金額	17,326(135.9)	705(330.6)	86(441.0)	171(89.5)	18,288(138.9)
2012年	数量	12,461(99.7)	547(128.3)	4(91.7)	13(56.5)	13,025(100.6)
	金額	17,897(103.3)	1,139(161.6)	145(168.5)	48(28.1)	19,229(105.9)
2013年	数量	13,198(105.9)	603(110.2)	4(105.9)	8(61.5)	13,813(106.0)
	金額	21,844(122.0)	1,655(145.2)	167(115.0)	29(134.7)	23,695(123.2)
2014年	数量	13,873(105.1)	608(100.8)	4(99.9)	12(150.0)	14,497(111.9)
	金額	24,781(113.4)	1,984(119.9)	139(83.3)	32(110.3)	26,936(147.3)
2015年	数量	13,352(96.2)	828(136.2)	3(75.0)	7(58.3)	14,190(97.9)
	金額	26,097(105.3)	2,751(138.7)	115(82.7)	32(100.0)	28,995(107.7)
2016年	数量	14,301(107.1)	724(87.4)	1(33.3)	11(157.1)	15,037(106.0)
	金額	22,867(87.6)	2,067(75.1)	46(40.0)	32(100.0)	25,012(86.3)
2017年 1-10	数量	13,272(119.8)	501(404.0)	1(100.0)	3(30.0)	13,777(117.8)
	金額	20,770(116.6)	1,148(66.6)	5(100.0)	18(56.3)	21,941(111.8)

2017年1～10月「その他ふとん」輸入枚数 97万枚、13.6%減少

その他のふとんの輸入実績

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ベトナム	インド	その他	合計
2011年	数量	1,313(101.4)	—	0(108.2)	37(284.6)	1,350(102.6)
	金額	2,809(110.5)	—	1(92.7)	250(263.2)	3,060(115.3)
2012年	数量	1,368(104.2)	0(—)	2(317.5)	37(100.0)	1,407(104.2)
	金額	3,111(110.8)	7(—)	5(441.0)	240(96.0)	3,363(109.9)
2013年	数量	1,582(115.6)	13(5469.3)	3(179.1)	9(24.3)	1,607(114.2)
	金額	4,496(144.6)	23(342.7)	4(89.4)	79(32.9)	4,602(136.9)
2014年	数量	1,584(120.6)	8(64.6)	7(266.8)	19(211.1)	1,618(119.9)
	金額	4,497(160.1)	15(66.3)	10(231.5)	153(193.7)	4,675(152.8)
2015年	数量	1,291(81.5)	34(425.0)	7(100.0)	4(21.1)	1,336(82.6)
	金額	4,177(92.9)	68(453.3)	13(130.0)	40(26.1)	4,298(91.9)
2016年	数量	1,211(93.8)	170(500.0)	1(14.3)	3(75.0)	1,385(103.7)
	金額	3,520(84.3)	312(458.8)	1(7.7)	25(62.5)	3,858(89.8)
2017年 1-10	数量	880(88.3)	88(71.0)	1(100.0)	3(100.0)	972(86.4)
	金額	2,611(90.6)	166(53.0)	2(100.0)	32(100.0)	2,836(90.5)

2017年1～10月「羽毛ふとん」輸入枚数 232万枚、24.7%増加

羽毛ふとんの輸入推移

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ドイツ	ベトナム	その他	合計
2014年	数量	1,584(49.2)	10(76.9)	263(57.9)	3(30.0)	1,860(50.3)
	金額	7,184(80.1)	500(122.0)	1,577(102.7)	125(168.9)	9,386(85.4)
2015年	数量	1,649(104.1)	10(95.5)	229(87.1)	7(233.3)	1,895(101.9)
	金額	7,265(101.1)	408(81.6)	1,365(86.6)	130(104.0)	9,168(97.7)
2016年	数量	2,032(123.2)	17(170.0)	390(170.3)	26(371.4)	2,240(118.2)
	金額	6,846(94.2)	284(69.6)	712(52.2)	116(89.2)	7,958(86.8)
2017年 1～10月	数量	2,206(129.2)	3(42.9)	99(77.3)	11(68.8)	2,319(124.7)
	金額	6,936(128.0)	130(50.8)	494(104.7)	120(117.6)	7,680(122.9)

2017年1～10月 輸入数量2,613トンで13.2%減少、金額は7.7%増加

羽毛原料の輸入推移

(単位：トン、百万円、%)

年	国	中国	台湾	ハンガリー	その他	合計
2014年	数量	1,653(105.1)	797(75.3)	126(82.4)	761(78.7)	3,337(88.9)
	金額	10,722(97.7)	6,060(94.1)	1,564(87.8)	6,745(99.5)	25,091(96.6)
2015年	数量	1,478(89.4)	885(111.0)	77(61.1)	641(84.2)	3,081(92.3)
	金額	6,749(62.9)	5,168(85.3)	791(50.6)	4,950(73.4)	17,658(70.4)
2016年	数量	1,226(82.9)	1,063(120.1)	347(450.6)	978(152.6)	3,615(117.3)
	金額	4,019(59.5)	3,611(70.0)	1,909(241.3)	5,787(116.9)	15,326(86.8)
2017年 1～10月	数量	874(79.7)	858(96.1)	182(79.8)	699(87.9)	2,613(86.8)
	金額	4,021(111.8)	3,368(111.8)	1,290(98.2)	4,821(104.6)	13,500(107.7)

迎		春	
丸ホームテキスタイル株式会社 大阪府中央区北久宝寺町四―一―十 東明ビル	メルクロス株式会社 東京都中央区日本橋三―三―一九	山一株式会社 大阪府西区土佐堀一―四―十一	株式会社杉野商店 名古屋府西区古野一―一―二
赤玉株式会社 東京都新宿区岩戸町十八	山忠棉業株式会社 大阪府西区江戸堀一―八―四	山栄商事株式会社 東京都台東区北上野一―四―二三 第二山栄ビル	カネヨウ株式会社 大阪府中央区淡路町四―二―一五 兼松ビル
			蔭山株式会社 大阪府中央区備後町三―四―一九 輸出繊維会館3F

◎組合事務局の年末年始休暇 12月29日(金)～1月4日(木)

[JFMA情報は再生紙を使用しています。]